

お客さまに安心してご利用いただくために 業界に先駆け抗ウイルス対策を実施 満足いただいたお客様がリピーターに

INTRODUCTION

赤坂インターシティコンファレンスでは、2020年5月に1回目の緊急事態宣言の中、ヘルスプライトを業界に先駆け全室導入しました。導入の経緯やその効果について赤坂インターシティマネジメント株式会社 取締役施設マネジメント部長 柴崎拓也さまにお話を伺いました。



ベストなタイミングでの提案

赤坂インターシティコンファレンスは、赤坂という政治や経済の中心的なエリアで世界に向けてグレードの高いコンファレンスセンターを作るという目的で2017年スタートしました。以来、株主総会や学会など幅広いテーマで活用いただいています。

2020年になり、残念ながら新型コロナウイルスが蔓延し、人を集めるのにネガティブになる中、どのようにコンファレンスセンターを運営していくべきか、頭を抱えていました。そんな折、ちょうどよいタイミングで広友物産からヘルスプライトの提案がありました。

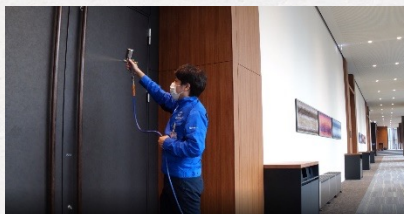
効果5年間という長さが社内の大きな説得材料に

社内でもさまざまな意見がありましたが、ポストコロナやwithコロナの時代に向けて、業界に先駆けて全室やってみようということになり、全室、全デスク、全椅子、壁面についても手が届くところはすべて抗ウイルス対策を打つということで決定しました。

決め手は、まず実績が豊富であること。公共機関や交通機関をはじめ信頼性の高い顧客に支持されていることです。次に、天然素材であり、人体に無害であること。そして、効果期間が5年と長いことでした。効果の期間が長いことは、社内でコンセンサスをとるのに大きな説得材料になりました。



中央／赤坂インタシティマネジメント株式会社 柴崎拓也さま
右／広友物産株式会社 代表取締役 梅木
左／広友物産株式会社 営業担当 並木



お客様から安心の声、リピーターになるケースも

成果としては、お客さまからありがたい声をいただいています。実際に予約の際に安心して予約いただけるだけでなく、お帰りになられるときにアンケートでも安心感を持って使っていただけたとの回答を多数もらっています。実際にリピーターになり、次回も当センターを使っていたいただけるケースも出ています。

今後もよりお客様に安心してご利用いただくために

広友物産の提案は、内容的に確かでとてもタイムリーでした。また、単なる製品の紹介ではなく、私たちの立場で考え、熱意をもって提案してもらえたことが大変ありがたかったです。今後もよい製品やサービスがあればご紹介いただき、我々とともに赤坂インターシティコンファレンスがお客様により安心して快適に活用いただけるよう、ご提案をいただければと思います。

AI²CC

赤坂インターシティコンファレンス
AKASAKA INTERCITY CONFERENCE CENTER

赤坂インターシティコンファレンス

<https://aicc.tokyo/>

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 3F・4F

日鉄興和不動産グループである赤坂インターシティマネジメント株式会社が運営。政治・経済の中心地でハイグレードなコンファレンスセンターを展開。最大300名のルームがあるほか、最新の動画配信設備で中継にも対応。